笑う門には福来たる

㈱日本交通社
発行人 光田秀之
☎089-946-3911

このひと

このひとと共に歩いて四十六年
坂ばかりの道であったが
今やっといくらか平らかなものとなった
このひとは生まれながらに
良いものを持ち
それが年と共に
豊かさを加えてきた
わたしは妻としてでなく
女としてこのひとを見
老いてますます
駄目になってゆく自分と比べて
どんなにしても勝てっこない
このひとの素質の美に打たれ
世阿弥のまう
散らで残りし花を感ずる

坂村真民記念館（砥部町）

明朗・愛和・喜働

旅をする

旅をすると思わぬ発見があり、様々な刺激を得られることはよくあります。「旅」とは、ひと時、自らの住む所を離れて、ほかの土地へ行くことを意味します。歴史上、旅には三種類あります。

一つ目は、食糧や安住できる地を求めた「生きるための旅」です。これが日本における旅の起源とも言われています。

二つ目は、遣隋使といった「命令される旅」、三つ目は熊野詣りのような信仰を目的としたものなど「自ら好んでする旅」があります。

現代においては、自ら好んでする旅という意味合いが強いようです。主な目的は、その土地でしか味わえない食を楽しむ、観光名所を巡るなどがあるでしょう。各々の好みによって、旅の楽しみ方も変わってきます。

このように、旅を通して「非日常」を体感することは良い刺激になります。近場であっても、旅を計画し、実際に目的地へ赴き、現地で撮った写真などを通して思い出を振り返る楽しみは、人生の醍醐味と言えるかもしれません。

見慣れぬ土地を目の当たりにすることで、人生がより豊かになるはずです。

◆日常と離れた体験をしてみましょう

「職場の教養」より

日本再発見！

サンメッセ日南（宮崎県日南市）

モアイ像は日本でも各地でレプリカが作られているが、正式に復刻されたのはここだけ。日南海岸から小高い丘を登った先にある公園、サンメッセ日南に並ぶそれぞれ約５ｍほどの７体だ。これは世界で唯一、ラパヌイ（イースター島）から正式に復刻許可を受けたもの。イースター島にある本物のモアイの修復作業を行った修復委員会は日本人が立ち上げたもので、彼らがイースター島の長老会から特別に許可を受け、ゆかりのあった当地にモアイを建立しました。

保親さんの人生万感

うすれゆく目を版木に押しやりて
心眼で刻む観世音

心眼で版画に彫む棟方の
女性はすべて胸厚き人

心で観る

自分を取り巻く人々、物、自然と向き合い真っ直ぐに
心の目を開いて見つめる何が見えてくるだろう。